

令和3年度スポーツ団体ガバナンスコード＜中央競技団体向け＞
第2回適合性審査委員会議事録

日時：令和3年12月3日（月）9時～11時30分

場所：JAPAN SPORT OLYMPIC SQUARE 12階 日本スポーツ協会「大会議室」

出席者：【委員】 菊地裕太郎委員長、松尾哲矢副委員長、小林久美、松永敬子、
森岡裕策、靱井圭子、藤原正樹（敬称略）

【オブザーバー】 山田登志夫氏、小塩康祐事務局アドバイザー

議案：令和2年度適合性審査について

審査に入る前に、令和3年11月末をもって退任となったJPSA山田前常務理事、新任の藤原常務理事からご挨拶をいただいた。

その後、審査の進め方について菊地委員長から説明。前回同様、予備調査チームの代表者から予備調査の概要について説明を行い（予備調査員は担当NFの説明時にZoomで参加）、委員からの質疑を経て、総合評価を決定することとした。

1. 公益社団法人日本ウエイトリフティング協会

総合評価：適合

要改善事項、好事例ともに無し。

2. 一般財団法人全日本野球協会

総合評価：適合

要改善事項、好事例ともに無し。

3. 公益社団法人日本アメリカンフットボール協会

総合評価：適合

要改善事項、好事例ともに無し。

4. 公益財団法人日本レスリング協会

総合評価：適合

要改善事項、好事例ともに無し。

5. 公益財団法人日本ハンドボール協会

総合評価：適合

要改善事項、好事例ともに無し。

6. 一般社団法人日本カバディ協会

総合評価：適合

要改善事項、好事例ともに無し。

7. 特定非営利活動法人日本水上スキー・ウエイクボード連盟

総合評価：適合

要改善事項、好事例ともに無し。

8. 公益財団法人日本セーリング連盟

総合評価：適合

要改善事項、好事例ともに無し。

9. 公益財団法人日本ソフトテニス連盟

総合評価：適合

要改善事項、好事例ともに無し。

10. 一般社団法人日本セバタクロウ協会

総合評価：適合

要改善事項、好事例ともに無し。

11. 公益社団法人日本オリエンテーリング協会

総合評価：適合

要改善事項、好事例ともに無し。

12. 公益社団法人日本ホッケー協会

総合評価：適合

【好事例】審査項目1

中長期計画である「Japan Hockey Road to 2030」において、9つの重点領域を定め、2030年までの具体的なアクションプランとタスクを明確にしていること、また、中期基本計画が浸透しやすいようにサマリーを作成していることは、ガバナンス強化の好事例である。

1 3. 公益財団法人日本体操協会

総合評価：適用

【好事例】 審査項目 1

中期基本計画において、各種目の強化や国内の普及のみならず、IF との連携など海外へ向けた活動についても具体的かつ詳細なマイルストーンを設定していることは、ガバナンス強化の好事例である。

1 4. 公益財団法人日本バレーボール協会

総合評価：適合

【好事例】 審査項目 3

組織の存続に向けた具体的な危機感に伴い、明確な数値目標が定められている。このような状況になったこと自体が適切ではないという評価はあろうものの、事態を改善しようとする積極的な姿勢は、ガバナンス強化の好事例である。

【好事例】 審査項目 17

選考過程のみならず、チームスポーツでありながら選考基準もできる限り明確にしているとともに、選考に漏れた選手への理由の開示まで可能になっており、基準の明確化と説明責任を果たそうとする点は、ガバナンス強化の好事例である。

1 5. 公益財団法人日本スケート連盟

総合評価：適合

【好事例】 審査項目 42

加盟団体に対する資金援助を明確に打ち出し、組織の活性化を図ろうとしていることは、ガバナンス強化の好事例である。

1 6. 一般財団法人日本バウンドテニス協会

総合評価：適合

要改善事項、好事例ともに無し。

令和3年12月10日

議事録署名

菊地 裕太郎